

7月10日に公示しましたが選定に至らなかったため、再公示します。

番号:130649 国名:アジア地域 担当:産業開発・公共政策部

案件名:平成25年度民間セクター開発分野技術協力プロジェクト中間レビュー調査、終了時評価調査
(グループ5)(評価分析)

1 今回契約予定のコンサルタント

評価分析 3号~4号

2 契約予定期間: 全体 2013年8月下旬から2014年1月下旬まで

国名	プロジェクト名(調査種別)	準備期間	派遣期間	整理期間	M/M
カンボジア国	カンボジア日本人材開発センター(終了時評価)	5	18	5	1.10
ベトナム国	知的財産権の保護および執行強化(中間レビュー)	5	14	5	0.97

(現地:1.07M/M、国内:1.00M/M、全体:2.07M/M)

3 簡易プロポーザル提出部数、期限、場所

簡易プロポーザル:正1部写4部

見積書:正1部写1部

提出期限:8月9日(12時まで)

提出場所:調達部受付(JICA本部1F)

4 プロポーザル評価項目及び配点

(1) 業務の実施方針

ア 業務方針の的確性	3
イ 業務方法の整合性、現実性等	6
ウ 当該業務実施上のバックアップ体制	1

(2) 業務従事者の経験能力等

ア 担当事項:評価分析	
(ア) 類似業務の経験	45
(イ) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域での業務経験	9
(ウ) 語学力	18
(エ) その他 学位、資格等	18

(計100点)

5 記載時留意事項

語学の種類:英語(語学は認定書(写)を添付してください。)

対象国/地域:カンボジア国・ベトナム国/全途上国

類似業務:各種評価調査

6 条件

補強:認めない。

参加資格のない社等:本調査の評価対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は、本案件への参加を認めない。

その他:特になし

7 業務の背景と目的

JICA はプロジェクトの品質を向上させるために従来よりプロジェクトに対する中間レビュー及び終了時評価を実施している。平成 25 年度において、JICA 産業開発・公共政策部産業・貿易第一課・第二課が所管する民間セクター開発分野で実施計画予定の中間レビュー及び終了時評価のうち、本契約の対象は下記の 2 件を予定している。なお、カンボジア国日本人材開発センタープロジェクトについては、2014 年 3 月の終了を予定しているが、カンボジア国側からは、ビジネス人材育成の支援に特化したプロジェクトの要請を受けている。かかる状況の下、当該案件については次期プロジェクトの計画策定を目的とした調査を、終了時評価調査と併せて実施することとした。

国名	プロジェクト名(調査種別)	現地調査予定期間
カンボジア国	日本人材開発センタープロジェクト(終了時評価)	2013 年 8 月下旬～9 月中旬
ベトナム国	知的財産権保護及び執行強化プロジェクト(中間レビュー)	2014 年 1 月上旬～年 1 月中旬

8 業務の範囲及び内容

本コンサルタント団員は、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に沿って、プロジェクトの中間レビュー、終了時評価及び次期プロジェクトの計画策定のために必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

具体的担当事項は次の通りとする。

[評価分析]

<中間レビュー・終了時評価>

(1) 国内準備期間

ア 既存の文献、報告書等(事業進捗報告書、業務完了報告書、合同調整委員会(JCC)議事録、専門家報告書、活動実績資料等)をレビューし、中間時点又は終了時点までのプロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセスを整理、分析する。

イ 既存の Program Design Matrix(PDM)に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価 5 項目ごとの目とデータ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。

ウ 評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、カウンターパート(C/P)機関、その他相手国側関係機関他ドナー等)に対する質問票(案)(英文)を作成する。

エ 調査団内の検討のため、評価グリッド(案)を用いて評価デザイン(案)を検討する。

オ 対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間

- ア JICA 現地事務所等との打合せに参加する。
- イ プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン 第 1 版」に基づいた評価手法について説明を行う。
- ウ 相手国 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、活動プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- エ 収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- オ 国内準備作業並びに上記(2)ウ及びエで得られた結果をもとに、他団員及び相手国 C/P 等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、合同評価報告書(案)(英文)の取りまとめに協力する。
- カ 調査結果や他団員及び相手国 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案(和文・英文)の取りまとめに協力する。
- キ 合同評価報告書(案)に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版の作成に協力する。
- ク 協議議事録(M/M)(英文)の作成に協力する。
- ケ 担当分野に係る現地調査結果を JICA 現地事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間

- ア 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)の作成に協力する。
- イ 帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
- ウ 担当分野の調査結果を取りまとめ、中間レビュー調査報告書(案)(和文)又は終了時評価調査報告書(案)(和文)の作成に協力する。

<詳細計画策定調査>

(1) 国内準備期間

- ア 現地調査で収集すべき情報を検討する。
- イ 調査団打合せ、対処方針会議等に参加する。
- ウ 次期プロジェクトの要請背景・内容を把握する。
- エ 担当分野に係る調査計画・方針案を検討する。
- オ PDM(案)、PO(案)及び事業事前評価表(案)の担当分野関連部分を作成する。
- カ 他ドナーが実施する類似プロジェクトに関する資料・情報の収集、分析を行う。

(2) 現地派遣期間

- ア JICA 事務所等との打合せに参加する。
- イ プロジェクト関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ウ 担当分野に係る現地調査結果を JICA 事務所等に報告する。
- エ PDM(案)、PO(案)の作成に協力する。
- オ 次期プロジェクトについてプロジェクト関係者との協議で合意された内容につき、R/D(案)及び M/M(案)の取りまとめに協力する。
- カ 評価 5 項目の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表(案)の作成に協力する。

(3) 帰国後整理期間

- ア 帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
- イ 担当分野の計画策定調査に係る報告書(案)(和文)の作成に協力する。
- ウ 事業事前評価表(案)作成に協力する。

9 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は(1)～(3)のすべてとする。

成果品の体裁は簡易製本とし、電子データもあわせて提出する。

- (1) 評価報告書(英文)(各案件分)
- (2) ①担当分野に係る中間レビュー調査報告書案(和文)
 - ②担当分野に係る終了時評価調査報告書(案)(和文)
 - ③担当分野に係る詳細計画策定調査報告書案(和文)なお、②と③は別冊とする。
- (3) 評価調査結果要約表(案)(和文・英文)

10 特記事項

(1) 業務実施上の留意点

航空券・旅費(日当・宿泊費)は契約に含めず、JICA より別途支給します。(見積書の旅費欄には 0 円と記載下さい。)

(2) プロポーザル提案事項

業務の実施方針をプロポーザルにて提案すること。

(3) 参考資料

特になし

(4) 必要予防接種 無

(5) その他

ア 調査団員構成

本調査における団員構成(予定)は以下のとおり。

<カンボジア国 カンボジア日本人材開発センター(終了時評価)>

- (ア) 総括(JICA)
- (イ) 協力企画(JICA)
- (ウ) 日本語コース評価分析(国際交流基金)
- (エ) 日本語コース評価企画(国際交流基金)
- (ウ) 評価分析(コンサルタント)

<ベトナム国 知的財産権の保護および執行強化(中間レビュー)>

- (ア) 総括(JICA)
- (イ) 協力企画(JICA)
- (ウ) 評価分析(コンサルタント)

イ コンサルタント団員が、他の団員より約 1 週間先行して、現地調査を開始する場合もある。

ウ 各案件の担当課は以下の通り。

カンボジア国 カンボジア日本人材開発センター(終了時評価):産業・貿易第二課 03-5226-6992

ベトナム国 知的財産権の保護および執行強化(中間レビュー):産業・貿易第一課 03-5226-8046